

チェルノブイリから学ぶことは？

福島県小児甲状腺がん手術87例の現実

福島県は原発事故に伴う健康影響をみる甲状腺検査（2巡目）で、今年1月から3月までに新たに16人が甲状腺がんと診断されたと発表しました（5月18日）。これで甲状腺がんは計103人となります。（検査対象は事故当時18歳以下の約38万5千人）

年間20ミリシーベルトを避難基準としている日本政府。

低線量長期被曝による健康への影響について見解が分かれる医師会ー！

チェルノブイリ（年間1~5ミリシーベルトで移住権利区域、5ミリ以上で移住義務区域）の今を知ることでこそ大切です。事故から30年近く経ってもなお、子どもたちの多くが様々な疾患を抱えている現実と、子どもたちの健康のために力を尽くす人たちの姿をご覧ください。

甲状腺がんは多発し様々な健康被害が出ているのが現実です。早急に対策が必要です。



（日本では）年間20ミリシーベルトを避難基準に設定したまま、住民の早期帰還策が進められている。また除染以外の被ばく防護策や健康調査は極めて限定的だ。

そんな中、OurPlanetTVではチェルノブイリ事故後28年経つウクライナへ足を運び、子どもたちの健康状態や学校生活などを取材した。汚染地域の子どもの健康状態や住民の罹患率が今も上昇する中、医師、教師たちの懸命な努力が続けられている。

- ① 上映「チェルノブイリ 28年目の子どもたち
~低線量長期被曝の現場から」(2014年 OurPlanet-TV 白石草 43分)
- ② 講演「福島原発事故での甲状腺がん異常多発、多様な健康障害」
林敬次 医師（医療問題研究会）

日時：2015年**6月14日(日)**

午後1時30分から3時30分

会場：**京都文教大学内** サロン・ド・パドマ
(宇治市槇島町千足80)

参加費500円
避難者と本学
学生は無料

*日曜日はスクールバスは出ていません。公共交通機関をご利用ください。
近鉄向島駅、観月橋近隣から大学近隣に停車するバス（近鉄・京阪）があります。

- 【主催】 ◇◇ 避難者こども健康相談会きょうと実行委員会 ◇◇
ブログ <http://kenkousoudankaikyoto.blog.fc2.com/>
お問合せ：実行委員会事務局 090-3627-2925（神田）
- 【協力】 京都文教大学 学生課